



コミュニティ政策学会

コミュニティ政策学会

Japan Association for Community Policy

Newsletter No.48 (2022.11.22)

第21回 宮崎大会 自由論題部会再報告会のお知らせ

開催経緯

7月に開催した宮崎大会自由論題部会において、zoomへのアクセスに不具合が生じ、発表者並びに関係者に多大なご迷惑をおかけしました。その後開催された、常任理事会や理事会における議論を通じ、再報告会を開催する運びとなりました。詳細は、理事会議事録をご確認ください。

開催概要

- 開催日時：2022年12月18日（日）14：00～16：00
- 主催：コミュニティ政策学会
- 開催形態：Zoomを利用したオンラインビデオシステム会議
- 参加費：無料

プログラム

開会の辞 14：00～14：10 名和田是彦（法政大学法学部教授、学会会長）

※Zoom入室可能時間は13時45分です

●報告者：

- ①谷 亮治・山田大地（京都市役所）14：15～14：45
不動産事業者がボランティアなコミュニティ形成事業に取り組む論理の検討
～株式会社プラスホームのケーススタディ
- ②浅野幸子（法政大学大学院公共政策研究所後期博士課程）14：50～15：20
“未災地”という視点から考察する高知市の地域共生社会推進政策の取り組み
- ③東 良太（島根県中山間地域研究センター）15：25～15：55
関係人口と関わりしるの見える化
—島根県飯南町ふるさとアンケート調査の事例から—

●司会：乾亨（立命館大学名誉教授、学会副会長・研究企画委員長）

閉会の辞 15：55～16：00 乾亨（立命館大学名誉教授、学会副会長・研究企画委員長）

- ・報告時間はお一人20分です。
- ・報告時間とは別にzoom参加者からの質疑応答の時間（10分程度）を設けます。
- ・発表資料は、宮崎大会で配布したものと同一のものをDropboxを通じて、配布いたします。

●参加者募集

再報告会参加受付用の Google フォームを準備しました。必要事項を記入の上、お申込みください。

氏名、所属、連絡先

<https://forms.gle/vVWtrbzCdwLcN7eA>



申し込み締切は 2022 年 12 月 15 日（木）23：59 です。

- ・ 12 月 16 日（金）15：00 に、zoom ID／パスコード等をお申込み時に指定されたメールアドレスに送付いたします。受信できない場合は、事務局までご連絡ください。

連絡先：コミュニティ政策学会事務局 office@jacp-official.org

研究プロジェクトの募集

「コミュニティ政策学会・研究プロジェクト設立の申し合せ事項」に基づき、新規の研究プロジェクトの提案を募集します。

会員の中に存在する多様な研究のシーズを発掘し、学会内においてそれを開花・発展させるべく、公募方式で研究プロジェクトを募集することになっております。多くの応募があることを期待しています。応募のあったプロジェクト案は、研究企画委員会にて吟味した上で、理事会の承認を経て、学会の媒体を用いてプロジェクト・メンバーの募集・広報を実施します。ぜひ、ふるって応募ください。

■応募申請先：研究企画委員長 乾 亨（立命館大学名誉教授）inui@ss.ritsumeai.ac.jp

<参考> 「コミュニティ政策学会・研究プロジェクト設立の申し合せ事項」

1. コミュニティ政策学会は、コミュニティに関する理論と政策の研究の発展をはかるため、会員からの提案に基づき研究プロジェクトを研究企画委員会のもとに設立する。

2. 研究プロジェクトを提案する会員は、①責任者の氏名、所属、連絡先、②研究の趣旨、③共同研究の進め方、④研究実施の期間、を示すプロポーザルを研究企画委員会へと提出する。実施される研究プロジェクトは、学会会員からの参加を募るものでなくてはならない。

研究実施の期間は、2年～4年の間としなければならない。ただし、実施期間内に学会大会で研究成果の中間報告を行うことを条件に実施期間を延長することもできる。

3. プロポーザルの内容は、研究企画委員会が吟味した上で、理事会にて会員への参加公募を認めるプロジェクトを承認する。会員への研究プロジェクトへの参加公募は、Newsletter、メルマガ、学会 HP 等を通じてなされる。

4. 参加者の公募期間の後、研究プロジェクトの提案責任者は、研究プロジェクトへの参加メンバーを研究企画委員会に伝える。研究企画委員会は、①研究プロジェクトが複数の会員から構成されていること、②プロジェクトの参加者の過半がコミュニティ政策学会会員であることを確認し、研究プロジェクトの発足を正式に承認する。

5. 研究プロジェクトは、研究実施期間内に学会大会ないしシンポジウムにてその研究成果を発表し、そ

の内容を学会誌にも掲載する。またプロジェクトの進捗状況は、理事会開催時に先立ち研究企画委員会に伝えるようにし、理事会に進捗状況が伝わるように努める。

6. 正式に発足した研究プロジェクトに対しては、毎年度、5万円を上限に活動費を学会会計より支給する。

理事会報告

コミュニティ政策学会 第46回 理事会 記録

2022. 8. 26

伊藤雅春

日時：2022年8月26日（金） 19時30分～21時40分

場所：zoom会議

出席者：名和田、乾、宗野、安藤、碓山、伊藤、桑野、佐藤、杉崎、直田、谷、玉野、土屋、林、深川、淵元、三浦、森、石田、

【審議事項】

0) 前回理事会・総会の記録の確認

⇒事前に送った前回理事会と総会の議事録について確認

1) 「地域の再生と自治の相関に関する国際シンポジウム」後援依頼の件について

⇒羽貝会員から依頼のあったシンポジウムの後援依頼について承認

2) 入会希望者のメール稟議による入会承認の件について

⇒前回理事会以降入会申請者については、毎月月末に理事会にメール稟議をお願いすることになった。7, 8月分の入会者承認について確認

⇒入会者に対する年報については、入会年度の学会誌を送付することとする。原則として入会年度は、入会手続きした年度からとする。

3) 世田谷大会の運営方式について

⇒玉野実行委員長より報告

⇒世田谷大会では特別エクスカッションを通常開催日の前日の金曜日の午後から実施することを検討中。

⇒理事会の開催日時との調整が今後必要となる。

⇒杉崎理事より世田谷大会実行委員会の報告

⇒8月8日にオンラインで開催、次回は9月11日の予定。早い段階で研究企画委員会とも情報を共有していきたい。

・自由論題の発表時間帯を他の分科会と分ける予定

・ポスターセッション導入の検討

・エクスカッションの充実

・全体シンポを軽くして分科会を充実する方向で検討中

4) 宮崎大会の自由論題分科会の再開催について

⇒名和田会長より謝罪の言葉

⇒桑野大会実行委員長より謝罪の言葉と反省点についてのまとめ

①大会関係者のリハーサルが不十分だった。

②利用公共施設の関係者との打ち合わせが十分ではなかった。

③Zoomのリテラシーが不足していた。事実関係と原因について後日報告書を提出したい。

⇒杉崎理事より常任理事会で検討した対応策について提案説明（別紙）

④発表者への対応について

⇒当日の不具合の状況について事実関係を確認してもらいたい。

⇒桑野理事より大会2日目の状況について報告

・大会2日目は午前4分科会、午後4分科会が開催された。

・自由論題分科会は午前2分科会、午後1分科会が開催された。

・大きなトラブルとなったのは午前中の2つの分科

会（C、D）であった。

・特にC分科会の発表予定会員はオンライン発表であったために連絡がつかず発表の機会を失った。

・CとDの分科会の他の発表者は発表はできたが、オンラインの聴衆には配信できなかった可能性が大きい。

・午後のG分科会では zoom を設定し直し ID の再発行をメールとホームページで行ったが、聴衆すべてに伝わったかどうかは不明である。

⇒現時点では発表者すべてに再発表の意思確認はしていない。発表できなかった会員についてはお願いし発表を快諾して頂いている。

⇒今回の再発表は3分科会 11名の発表者全員を対象とする。

⇒今回の自由論題でオンライン発表を認めた経緯についてははっきりしない点があるが、今後はこうしたことがないように広報することとする。

⇒開催日時については、11名の発表者に12月18日14時を第1候補日としてお願いすることとする。

⇒発表に当たっては、発表者に対して業績のダブルカウントにならないよう確認する必要がある。前掲の未発表会員については年報に発表の記録を公式に残すこととする。

今後の対策について

⇒オンラインの場合の対策として1と2に加えて、3として「開催直前に接続確認を行う」を加えることとする。

⇒世田谷大会の実行委員会でより詳細に内容を詰めることとする。現時点ではハイフレックスの場合はオンライン参加者は発表を聞くことはできるが質問は認めないくらいの内容で整理することを考えている。

5) ブックレット事業の進め方について

⇒名和田会長より常任理事会での確認事項の報告

⇒常任理事会の中に刊行委員会を作って予算投入の審査体制を整えることを考えたい。東信堂とは今後協議していく予定。東信堂にはブックレット審査の時に刊行委員会にオブザーバー参加をしてもらうことを検討したい。

⇒宗野編集委員長からの提案

⇒ブックレット企画の柱として単独で開催している学会シンポジウムの記録を刊行することを検討したい。

以上

コミュニティ政策学会会員動向

(2021年11月27日から2022年11月20日)

〈入会〉

No.	会員氏名	所属等	推薦人	種別
1	柴田亮太	東北大学農学研究科	伊藤雅春	学生
2	鈴木潤	福島市役所	伊藤雅春	個人
3	佐野淳也	大阪成蹊大学経営学部公共政策コース	小辻寿規	個人
4	黒川僚介	和泉市役所	谷 亮治	個人
5	向井直文	特定非営利活動法人 きょうと NPO センター	松浦さと子	学生
6	田中謙	日本大学文理学部	伊藤雅春	個人
7	東良太	島根県中山間地域研究センター企画情報部	伊藤雅春	個人
8	早田絵里菜	早稲田大学	早田幸	学生
9	清水英行	早稲田大学大学院社会科学部	早田幸	学生
10	相原悠伸	早稲田大学社会科学部	伊藤雅春	学生
11	菊地敦子	宇都宮大学地域創生科学研究科	石井大一朗	個人
12	牧田幸文	福山市立大学	伊藤雅春	個人

〈入会〉

No.	会員氏名	所属等	推薦人	種別
13	青砥和希	東日本大震災・原子力災害伝承館	石井大一郎	個人
14	黒木淳子	特定非営利活動法人みやざきママパパhappy	名和田是彦	個人
15	宗形颯人	拓殖大学国際学部	石井大一郎	学生
16	小堀清次	大阪公立大学大学院都市経営研究科	伊藤雅春	学生

〈退会〉

No.	会員氏名	所属等	推薦人	種別
1	山口一史			個人
2	平修久	聖学院大学政治経済学部		個人
3	向井洋子	熊本学園大学社会福祉学部		個人
4	安部梨杏	神戸大学大学院農学研究科		学生

事務局からのお知らせ

1. 本年度の会費請求は会員管理システムを通じて行っています。個人会員は年額 8,000 円（ただし学生会員は年額 5,000 円）、団体会員は年額 30,000 円です。なお、本年度はシステム運用初年度のため、請求書払いをご希望の場合は事務局までお知らせください。
2. 会員管理システムへのログインページは、<https://jacp.smoosy.atlas.jp/mypage/login> です。会員番号もしくは登録のアドレスと、パスワードを入力してください。会員管理システム上で、下記を確認・変更することができます。
 - ・請求書の発行（入金後は発行できません）
 - ・請求明細の確認（入金後に確認可）
 - ・領収書の発行
 - ・会員情報の確認と変更
3. 会員管理システムやその他お問い合わせは事務局にお願いいたします。連絡先は下記の通りです。

<p>コミュニティ政策学会 Newsletter No.48</p> <p>〒102-8160 東京都千代田区富士見 2-17-1 法政大学法学部気付</p> <p>TEL 03-3264-9441 FAX 03-3264-4045</p> <p>E-mail office@jacp-official.org https://jacp-official.org/</p> <p>発行日 2022 年 11 月 22 日 編集 事務局 伊藤、杉崎、林、土屋</p>
--